

市内初 女性活躍推進協定を締結 株式会社ささめトレーディング

キラッと光る丹波市の「人・もの・こと」のええなあを紹介します。



会社を支える力 キーワードは「女性」

5月19日、市は釣具メーカー「ささめトレーディング」と職場における女性活躍の推進に取り組むことを定めた“女性活躍推進協定”を結びました。協定に基づき、社内制度の改善や設備投資費用の一部を補助します。

篠倉庸良社長から会社や制度について詳しく話を聞きました。

女性が活躍する会社

「ささめトレーディング」は、釣具メーカー株式会社ささめ針の製造部門です。主に海外の製造工場と連携して製品の生産、仕分け、検品などを行っています。従業員15人中10人が女性で、うち管理職が2人です。流通・販売を担う、ささめ針も従業員42人中女性22人という女性が活躍する会社です。

大量の商品が海外と行き来するため、整理整頓に秀で、細やかな気配りができる女性たちが製品管理、品質管理などで活躍しています。

時代の変化とともに進む

ここ約20年間で、わが社を取り巻く環境は大きく変わりました。釣り人口が年々減少。女性や子どもなど、釣り未経験者向けの商品開発やイベントを実施し、業界を挙げて釣り人口増加をめざしています。

また、全国的に結婚・出産を経験して働き続ける女性が増加。わが社にも、出産後も働き続けたいという女性従業員が増えてきました。

会社を支える女性が働きやすい職場になるよう努力を続けてきましたが、近年、根本的な改革が必要だと感じていました。

女性の働きやすい職場へ

協定は、女性活躍推進に向けた方針表明や研修の実施、休業制度の見直し、女性専用設備の設置などを市と連携して進めることが定められています。まずは、設備投資費用の補助金を活用して、女性専用のトイレを整備する予定です。

協定に基づき、専門家からの意見を求めたり、従業員の考えを取り入れたりしながら、働きやすい環境・制度づくりに取り組んでいます。

だれもがイキイキと働くために

わが社では、働き方について学び、検討するチームを設けています。チームに所属する森野さん（写真上部左）は「女性にスポットが当たるようにうれしい。しかし、男女が互いに協力しないと日常生活は成り立たない。」と話してくれました。

取り組みが進むにつれ、女性の働きやすさだけでなく、働き方そのものに対する従業員の意識が少しずつ変化していると感じます。女性はもちろん、全従業員がイキイキと活躍できるよう、今後も取り組みを進めていきます。

